キャラクター名: リリオーシュ

プレイヤー名:

ポジション	ジャンク	**享年**	14
メインクラス	ステーシー	**暗示**	渇望
サブクラス	バロック	**寵愛点**	0

初期配置	煉獄
最大行動値	11

能力値	クラス	修正	合計
武装	1	1	2
変異	3	0	3
改造	0	1	1

記憶のカケラ	内容
77　幸福の時	ああ、幸せ。こんなに幸せでいいのかな。終わるのがこわいくらいの幸せ。夢じゃないかと思うくらいの幸せ。そう。あなたの中にある夢のような記憶。けれどそれは、「あった」のだ。
89　迷子	はぐれてしまって一人きり。あなたはなにもわからないまま、泣きながら彷徨う。知らない道、知らない場所。そこは暗闇と同じで。周りに居るのは知らない人ばかり。それでも、あの時は人がいた……。
教会	あなたは一孤児でした。教会で神様に祈りを捧げ、文字を学び、ひたすらにいい子になるために努力していました。なぜならいい子は一家族にしてもらえるから。先輩のひとりが、神父様に連れられて「奥の部屋」に消えていきます。しばらく経つと、その先輩は青白い顔で戻ってきます。そして、自慢げにあなたに腕を見せびらかすのでした。いまのあなたならわかるでしょう――それはアンデッドのための技術を試したのだと。ただ昔のあなたは、いい子にしていれば天使にしてもらえるのだと――そしてその教会で、ソプラノの歌声を響かせるのだと、信じていました。
ネクロポリス	世代の娯楽施設。きらびやかなネオンに彩られた建物やアトラクション。一見楽しそうに見えるけれどそこでは口に出すのもおぞましいような残虐行為が、娯楽として人々に楽しまれていた。
歪な娯楽	手かせをはめられ動けないあなたに、ゆがんだ笑みを浮かべた人々が近づいてくる。それは、男だったり、女だったり、若かったり、年老いていたり。みんなそれぞれ鬱憤を晴らすかのごとく、あなたをいたぶりはじめた。どうしてこんな目に合うのかわからないまま、あなたは何度も何度も嬲られたのだ。

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの【本】	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
唐笠　棗	憧憬	3	①②③④⑤	
正倉院セイカ	友情	1	①②③④⑤	
皐	執着	2	①②③④⑤	
		1	①②③④⑤	
		2	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		半壊		オート		自身	バトルパートにおけるターン終了時、「たからもの」を破損した際、いずれも狂気点の増加を受けない。
メインクラス		庇う		ダメージ		0-1	対象が受けたダメージを、代わりに自身が受ける。1ターンに何度でも使用可。
メインクラス		肉の盾		ダメージ		0-1	ダメージに付属する効果全て(切断/連撃/全体)を打ち消す
サブクラス		再生		ダメージ	1	自身	防御1、1ターンに何度使ってもよい。
頭		のうみそ		オート			行動値+2
頭		めだま		オート			行動値+1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃+１
頭		羽根耳		ダメージ	0	自身	防御2　（やぶれひまく）
頭		アドレナリン		オート		自身	行動値+１
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃+１
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援１
腕		かた		アクション	4	自身	移動１
腕		チェーンソー		アクション	3	0	白兵攻撃2+切断
胴		羽根		ダメージ	1	自身	防御2　（うろこ）
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
胴		棺桶【リュック】		ダメージ	2	自身	このパーツが戦闘終了時に破壊されていなければ、自身の損傷している任意のパーツ2つを選んで損傷前の状態に戻してよい。
胴		しんぞう		オート		自身	最大行動値+1
胴		たからもの【本】		オート			表紙はやぶれ、文字はすり切れ、ページのちぎれた絵本。
胴		たからもの【金の腕輪】		オート			これはまるで天使の輪のよう……自身の私物のような気がする
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害１